■あさポケ次号は3月14日(日)の発行です。

3月6・7日

『東林文化祭』に行こう！

東林公民館創立35周年、作品展示や舞台発表

東林地区の文化と芸術の祭典『東林文化祭』が3月6日(土)9時50分～15時、7日(日)10時～16時、2日間にわたって東林公民館で開催される。

同文化祭は公民館や東林地区内で活動しているサークルや団体が、作品展示や舞台発表などで日頃の成果を発表するとともに、サークル同士や地域住民同士の交流の場にもなっている。

作品展示は両日、俳句、短歌、書道、絵画、手工芸、生花など。発表の部は日替わりで、音楽、体操、ダンス、舞踊など。また、喫茶コーナーやお茶会もある。

発表の部の予定は次の通り。

昨年の文化祭。写真上＝舞台発表の部、下＝作品展示の部

【3月6日(土)】
▼9時50分～とうりん鼓笛隊▼10時00分～四季の会・若さの会（体操）▼11時10分～ピカケ（フラダンス）▼11時50分～レクダンス・スマイル▼12時30分～相模三曲の会（箏曲）▼13時～沖縄三線東林間倶楽部▼14時～めだかの学校（模擬授業）

【3月7日(日)】
▼10時～メイト花音（琴）▼10時30分～桃花村塾（詩吟）▼11時～琴望会（大正琴）▼11時30分～手話サークル　みちの会▼12時15分～ハーモニカクラブひまわり▼13時～16時　染洋会・洋美代会・瑛扇会・いつわ会・好美会・壹泉会・潤紀会・東林芸能同好会・華の会（舞踊）

「お気軽にご来場ください！」。問い合わせは、東林公民館☎042（744）0087へ。

災害に強い地域づくり 人づくりを考える

翠ヶ丘自治会の江沢さん 県央フォーラムで発表

県央の6市1町1村が参加する県央フォーラム運営実行委員会主催の地域県民集会『災害に強い地域づくり、人づくり』が2月6日、座間市内のハーモニーホール座間小ホールで開かれ、県央各地から約370人が集まった。

基調講演は、時事通信社編集委員で防災リスクマネジメントWeb編集長の中川和之氏が、内閣府の『一日前プロジェクト』を紹介。同プロジェクトは、阪神淡路大震災や新潟中越地震などの被災者に話を聞き、そこから導き出せる教訓や体験談を物語にまとめる活動。「もし一日前に戻れたら…」どんな行動をし、何を準備すればいいかなど、貴重な情報源になっていると説明した。

後半は防災・減災への各団体の取り組みを紹介。ざまボランティアネットワーク副代表の濱田政宏さん、翠ヶ丘自治会自主防災隊4区隊長の江沢一郎さんが、壇上で発表を行った。

翠ヶ丘自治会の江沢さんは、自主防災隊の組織や活動、防災訓練の様子をスライドなどで分かりやすく説明。「より実用的な訓練の積み重ねや住民同士の日頃のコミュニケーションが必要」と話し、同自治会では、子供から大人まで楽しく参加できるイベントを定期的に開催しており、色々な面で役立っていると述べた。

自主防災隊の活動を紹介する江沢さん

「賢い子」に育てるためのハッピー親子講座

第12回　人を育てる基本

―　椋木修三　―

子育て講演や企業研修で必ず課題に出すテーマがあります。それは、『人は何を求めて生きるのか』です。この課題を10分そこらで考えてもらうのですが、現実10分そこらで考えられる問題ではありません。おそらく一生かけて考えていく問題でしょう。しかし私はその限られた時間の中で皆さんに考えていただくのです。もちろん「正解」はありません。だから自由に考えていただくのですが…。さて、皆さんはいかがお考えでしょう。

いろいろな考えが出てくる中で私は、一つの「答え」を皆さんに提案しています。それは、「私たちは人よりも優れていたいという欲求をもって生きている」ということです。これを一言で「優越性の欲求」といいます。逆に言えば「人より劣っていたくない」ということです。では、なぜ人より劣っていたくないのでしょうか？

それは、人より劣っていると、「人が認めてくれない」「人がよく見てくれない」「人が大事に扱ってくれない」「人が愛してくれない」「人がよく思ってくれない」という怖さがあるからです。これを一言で「自己尊重感の不安」と言います。換言すれば、人はみな意識するしないにかかわらず、この「自己尊重感」を求めて生きているともいえるのです。

前回、おねしょの子がデパートに行ったとき、店員さんからあいさつをされて有頂天になった話をしました。ポイントはここです。本来なら客は親のほうですから、店員が親に挨拶して当然です。しかし、その親は「今日は私がお客ではないから、この子に挨拶をしてやってほしい」と言いました。実はここがすばらしい。なぜなら、親のその言葉は子どもの自己尊重感を刺激し、店員の子どもへの挨拶はその子の自己尊重感を満たしたことになるからです。平たく言えば、「子ども扱いをしなかった」ということです。子どもの立場からすれば、大人が「自分の顔を立ててくれた」ことになるのです。その結果、その子は大いに満足したのです。そして、それがその子の自覚を高め、おねしょを止める力になっていったというわけです。これを使わない手はありません。もし、自主的に勉強させたいとお考えなら、子どもの自己尊重感を刺激することを考えてみてはどうかと思います。

■鈴木達幸　新風・竹人形展

開催中～2月28日(月)10時～19時、相模が丘1丁目17－47日高インテリアビル2階「ギャラリー・サンフラワー」で。竹の特性を生かしたオリジナル創作竹人形など約50作品を展示。入場自由。問合せ＝同ギャラリー☎042（701）3565。

■役立つ「お葬式セミナー」

2月27日(土)14時～16時、大和市深見西1－3－17の大和市生涯学習センター308会議室で。NPO法人全国葬送支援協議会主催のお葬式に関する正しい情報や最新情報を提供するセミナー。テーマは「家族葬ってどんなお葬式？」。参加無料、定員40名。申込み・問合せ＝同協議会（ふじみ式典内）☎0120（64）7764。

■八百屋さん体験

3月6日(土)9時～正午、東林公民館玄関前で。東林文化祭の初日、新鮮野菜の店とうりん屋がオープンします。お店体験をしたい小学生を募集。対象は東林地区在学の小学生（小3以下は保護者同伴）、先着20名。指導は「さとちゃん」店主の佐藤昇さんです。エプロン、三角巾持参。受付は2月20日～28日。申込み＝東林公民館☎042（744）0087。

■北文キッズよさこい参加者募集

4月4日の相模が丘さくら祭りで、よさこい鳴子踊りを踊る子供を募集。対象は座間市在住の小学生以上で、5回以上練習に参加できる方。練習は3月13日～全7回、北文で実施。よさこいの衣装を着てパレードに参加しよう！　参加無料。申込み＝北地区文化センター☎042（747）3361。

ふれあい伝言板

朝日新聞とASAは、ベルマーク運動を応援しています。ASAは読者の集めたベルマークを近隣の学校に届けています。ベルマークを集めたら、ASAイワサキ☎042(743)0398までご一報ください。

少年サッカー 審判のコツがわかる本

パッセの濱口さんが監修

深掘中央公園やくぬぎ台小、上鶴間小で活動するパッセサッカークラブ監督、濱口和明さん監修のコツがわかる本シリーズ『もっとうまくできる！　少年サッカー審判のコツ50』が、メイツ出版㈱から刊行され、話題になっている。

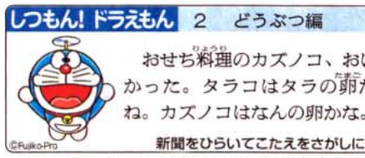
濱口さんは、Jリーグ東京ヴェルディの前身「読売サッカークラブ」で選手として活躍した後、同チームでトップ、ユース、ジュニアのコーチを歴任。日本サッカー協会公認S級コーチ資格者として少年サッカーの指導を行うほか、審判インストラクターとして後進の育成にも尽力している。

同書は「キックオフまでの準備」「主審の役割」「副審＆第4の審判員の役割」の3章からなり、実践に役立つノウハウや注意点を写真や図で丁寧に解説している。これから審判に挑戦する人、審判を上手にやりたい人は、ぜひ読んでおきたい一冊。定価1575円（税込）。注文は最寄りの書店、またはメイツ出版☎03（5276）3052へ。

ドラえもんを探せ

朝日新聞の朝刊1面に、元旦から『しつもん！　ドラえもん』というミニコラムの連載が始まった。子供向けの教養欄で、原則毎日連載。1面に質問が掲載され、中面のいずれかのページに答えが掲載されている。答えが掲載されるページは毎日変わるので、新聞をペラペラとめくって探す楽しみもある。質問内容は「動物編」「戦国時代編」「乗り物編」など、2週間単位でテーマが変わり、今後は「言葉遣い編」などを予定。子供向けだが、大人でも頭をひねる問題もあり、家族で考えたり、雑学として覚えておきたい内容もある。

さあ、ページをめくって答えを探そう！　答えの場所は神出鬼没。



朝日新聞の朝刊に毎日連載されるミニコラム

見つけにくい日もあります。横35㎜×縦80㎜と小さいので、よく探してみてね！

なお、ASAでは3月以降、同コラム専用スクラップブックを希望者に配布予定。お楽しみに！

読者プレゼント

身長約10センチのドラえもん貯金箱
ポーズは2種類ありますが、選べません

「しつもん！　ドラえもん」の連載を記念して、抽選で10名様にドラえもん貯金箱（＝写真）をプレゼント。希望者はハガキまたはEメールで、あさのポケット編集室「ドラえもん係」まで。住所・氏名・年齢・職業（学年）・本紙に対するご意見、ご感想等明記。締切りは2月24日必着分まで。

【応募先】〒228－0813 松が枝町7－4　asapoke@mtg.biglobe.ne.jp

朝日新聞社杯争奪SFAカップサッカー大会・少年少女の部結果

SFAカップの決勝が2月11日、麻溝公園競技場で行われた。優勝チームは次の通り。▼5年生＝バディSC中和田▼4年生＝大沢FC▼3年生＝共和SC▼2年生＝つくい中央FC▼1年生＝相東ユナイテッドFC▼少女＝鹿島キッカーズ　優勝おめでとう！